

平成29年度 中学部 進路先学習会

11月27日から29日までの3日間に、5つのグループに分かれて進路先学習会に行ってきました。

オープンハウス白河

オープンハウス白河では、シール剥がしの活動を体験したり、 puttインやパズルなどの課題に取り組んだりしてきました。

バスの中では緊張した面持ちでしたが、自分たちの得意な活動に取り組めたことで落ち着いた気持ちで参加することができました。



結工房

結工房では、はさみを使って紙を細く切る作業と、そばの実の選別の作業を体験しました。作業をするときには、髪の毛が入らないように帽子をかぶったり、マスクを付けたりし、衛生面に気をつけて取り組みました。

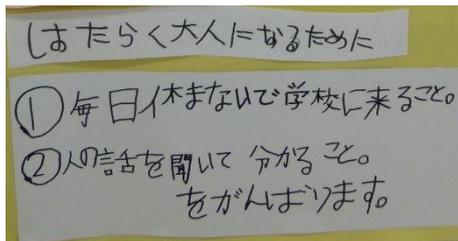
そばの実の選別では、黒い実を探し、ピンセットで1つずつ丁寧に取り除く作業に最後まで集中して取り組むことができました。



ワーキングやぶき

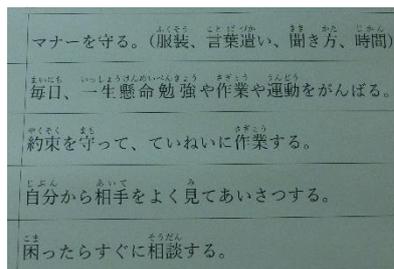
ワーキングやぶきでは、事業所で作っている車の部品を触らせてもらったり、事業所で働いている方に質問をしたりしました。生徒たちは「働くために大切なこと」「仕事をしていて楽しいこと、大変なこと」などを質問し、休まないで仕事に来ることの大切さや、給料をもらえることの喜びなどを教わりました。

生徒たちは、学んだことから、働く大人になるために、今頑張ることを考えました。



吉野家ファーム

吉野家ファームでは、作っている野菜の中から、白菜の収穫の作業を体験してきました。底の部分を切り取ったり、収穫した白菜を運んだりする作業を実際に体験したことで、体力だけでなく気力も必要な仕事であることが分かりました。体験したことや、お話を伺ったことを踏まえて、生徒たちは「働く大人になるための道」を考えました。



大信やまゆり

大信やまゆりでは、車の部品作りと袋作りの作業を体験してきました。部品作りでは、正しい位置にはまるまで細かい部分に注意して部品を組み立てたり、左右の長さが同じになるように袋にひもを通したりするなど、丁寧に作業をすることの大変さを学んできました。

また、作業への取り組み方だけではなく、挨拶や報告なども働くために大切なことだと学ぶことができました。

